

わいわいタイムス

～ みんなの力で上関町をもっと元気にしよう! ～

「とんち話」に花が咲く

桜の花を愛でること、心が和むといわれる方も多いですが、3月の花冷えで桜の開花もゆっくりに感じられた今年の春。咲き始めの桜にも、豪華絢爛な満開にも、さかきよひ散る際にも、それぞれ桜の良さがありますが、あなたのお好みの桜は・・・?

今年もいよいよお花見シーズンがやってきましたね。ここでちょっと、お花見にちなんだ楽しい昔話をひとつ。

昔々、彦市という賢い子どもがおりました。ある春の日、殿様が二十人ほどの家来を連れ、お花見へ出かけることになり、殿様のお気に入りの彦市も呼ばれました。出発の時、殿様が「花見の荷物を運んでもらうが、どれでも好きな物を持って行くがよい」と言いました。並べられた荷物には、殿様が腰をかける椅子、地面に敷く毛氈(もつせん)、鼓や太鼓、茶わんやお皿、徳利に盃(さかずき)などの酒盛り道具、歌を詠むための筆や硯(すずり)や短冊などもありました。どうせなら軽い物が良いと、家来たちは我先にと軽い荷物を選び、そんな様子を彦市がじっと見てみると、最後に残ったのは竹の皮にくるんだにぎりめしや、おかずの入っている包みだけでした。へはは、ん、食べ物重いから、誰も手を付けないな。しかしこれは、いい物が残ってくれたぞ、彦市は、わざとガツカリした様子で



「何と、こんなに重たい物しか残っていないとは・・・」と、重そうにお弁当の包みを担ぎ、みんなの後をついて行きました。それを見た家来たちは、へ知患者と評判の彦市が、あんな重たい物を担ぐとはバカな奴じゃと、笑いました。

さて、桜咲く山に到着した一行は、囲いの幕を張り、毛氈を敷いて、彦市の持つて来たお弁当を食べることにしました。そして、花を眺め、歌を詠んだり、酒盛りしたり、殿様も家来たちも思う存分にお花見を楽しみました。いよいよ、お城へ帰ることにになり、家来たちが荷物を片付けていると、彦市が「殿様、このまま同じ道を帰るのですか?」と、訊きました。「ふむ、と、言うこと?」「ううん、くだされ。向うの山も、見事な花盛りでございます。あの山の桜も眺めながらお帰りになつてはいいかがでしょうか?」「なるほど、それは良いことに気がついたな」と、大喜びの殿様。「まだ日も高いし、あの山の桜を眺めながら帰ろうと思うが、どうじゃ?」と。家来たちは、今荷物を担いで、山を越えるなんてまっぴらじゃと思いましたが、殿様の言葉には逆らえず、「はい。お供いたします」と、しびしび頭を下げました。彦市は「では殿様。ご案内いたします」と、みんなの先に立って歩きます。殿様が家来たちを見ると、みんな大きな荷物を持っていますが、彦市は小さくたたんだ風呂敷を腰にぶら下げているだけ。殿様は不思議に思い、「これ彦市。お前の荷物はどうした?」と尋ねると、「ニッコリ笑って彦市は言いました。」「はい、わたしの荷物は、みなさんのお腹の中にございます」

「彦市ばなし」は、その場に依じて即座に働く知恵のある彦市の、いわゆるとんち話。「夕鶴」や「わらしべ長者」で有名な劇作家の木下順一さんが書かれたお話ですが、子どもの頃に大笑いしたり、へえと感心したり、ずいぶん楽しんだものでした。

先日、本について知人と話す機会があり、最近の子どもたちは、日本・海外を問わず、昔から読まれてきた少年少女文学集の類をあまり読んでいないと聞き、残念に思いました。想像力豊かな、夢も希望も膨らむ心の成長期に、先人の知恵や想いがぎゅっと詰まったたくさんのお話をぜひ読んでほしいものです。

桜咲くこの4月、新しい生活が始まる方に、激励や祝福の気持ちを込めて、本を一冊贈(はなむけ)に贈られるのいいかもしれませんね。

わいわい掲示板

◆「難波英子 絵画展」開催のお知らせ

上関町白井田出身の画家・難波平人さんの奥様、英子さんの絵画展が広島三越で開催されます。ぜひご来場ください。

【日時】2016年4月12日(火)～4月18日(月)
午前10時30分～午後7時30分
(最終日は午後4時まで)

【会場】広島三越 7階三越画廊
広島市中区胡町5-1 電話 082-242-3111 (代表)



3月20日朝8時～釣り開始エサは冷凍のイカナゴを解凍してつりました。場所はハナグリ沖、水深60～70mあまり良く釣れませんでした。



印刷のことなら... さかもと印刷
創業91年 大正14年
田布施町寿(山銀南側)
TEL 0820-52-2522
FAX 0820-52-3522

誰もが安心して食べられるおいしいお菓子を



自然菓子工房 欧舌
〒742-1511
熊毛郡田布施町下田布施 874 番地
TEL 0820-52-2038 FAX 0820-52-2538
メール okashi@oh-shita.com
ホームページ http://www.oh-shita.com/
営業時間 10:00～19:00 定休日 日曜日

はっぴーあいらんど 祝島 民宿くにひろ

祝島 1泊2食 7000円
素泊り 4000円

〒742-1401 上関町祝島
携帯電話 090-1332-4897
メール: minsyuku@iwaishima.jp
http://iwaishima.jp/minsyuku/

はっぴーあいらんど 祝島通信 Vol.2

語り:優子☆、写真:國弘秀人
(みずのわ出版)
定価1500円+税

好評発売中!

明屋書店柳井店・光店、ダルマ書店(柳井市)、えべす商店(祝島)、民宿くにひろ(祝島)等で販売しています。

◎電話注文は090-1332-4897へ